

## 議案質疑・一般質問の内容及び答弁者

議案に対する質疑  
【12月3日】

平成21年12月定例市議会

発 言 議 員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
1 番 中島直樹議員	1. 議案第78号 平成21年度羽生市一般会計補正予算（第7号）について ① 第10款教育費について	① 学校教育部長
9 番 齊藤 隆議員	1. 議案第78号 平成21年度羽生市一般会計補正予算（第7号）について ① 第2款第1項第5目、第16目消費者行政費について ・ 具体的運用について ・ 現状について ・ 広報について ② 第6款第1項第3目について ・ 農地集積化へむけた具体的内容 ・ 集積化への目標値設定について  2. 議案第80号 羽生市行政組織条例の一部を改正する条例について ・ 統合へ至った経緯について ・ 統合目的と効果について  3. 議案第84号 羽生市介護保険条例及び羽生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について ・ 第3条、第4条の「当分の間」とは、どの程度の期間か。 ・ 延滞金徴収に関する条例の適正な運用について ・ 2つの条例改正が一つの議案として提案された見解は。	① 市民福祉部長  ② 経済環境部長  ③ 企画財務部長  ④ 市民福祉部長
10 番 藤倉宗義議員	1. 議案第78号 平成21年度羽生市一般会計補正予算（第7号）について ① 第14款県支出金、第7目商工費県補助金 地域づくり提案事業100万円について ・ 実績を伺いたい。 ・ 効果がないという話もあったが、創意工夫をすることにより効果があるものにできるのでは。	① 経済環境部長
8 番 保泉和正議員	1. 議案第78号 平成21年度羽生市一般会計補正予算（第7号）について ① 第3款民生費 ・ 生活保護の現状の状況について ・ 今後、生活保護受給者及び保護費は、どのように推移するのか。 ② 第6款農業費 担い手経営展開支援リース事業について ・ リース事業の内容について ・ リースで事業を行うことのメリットについて ・ 本事業でリースできる農業機械の品目及び今回の補正でリースする予定の農業機械はなにか。	① 市民福祉部長  ② 経済環境部長

市政に対する一般質問  
【12月3日】

発 言 議 員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
8 番 保泉和正議員	1. 公民館図書室のあり方について	① 生涯学習部長

発 言 議 員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
1 番 中島直樹議員	1. 図書館の運営方針について 2. 公園遊具の安全管理について	①生涯学習部長 ②まちづくり部長
5 番 根岸義男議員	1. 羽生市の医療体制について ① 救急医療体制の現状、現時点での課題、将来計画について ② 夜間診療所の必要性について	①市民福祉部長

【12月4日】

発 言 議 員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
10 番 藤倉宗義議員	1. 人口減少、高齢化をくいとめる企業誘致について ① 新卒者の当市内での就職状況は。 ② 現在の企業誘致計画について ③ 当市に必要な企業の適正数、規模、近隣市との比較は。 ④ 企業転出をくいとめる方策について ⑤ 優良企業誘致のための戦略について ⑥ 働く場のある町として当市の目指す企業立地計画を。 2. 協働のまちづくりとして街灯、防犯灯の増設を ① 街路灯組合のしくみと現在の設置状況について ② 防犯灯設置状況と増設申請の現状について ③ 街灯、防犯灯の設置費用と電気代、維持費について ④ 防犯灯増設のため、電気代の自己負担と設置費用の補助はどうか。 3. 河田市長の今後の政治姿勢と新年度予算編成について	①まちづくり部長 ②総務部長 ③市長
9 番 齊藤 隆議員	1. ヒブワクチン接種助成について ① 細菌性髄膜炎とヒブワクチンに対する認識について ② ヒブワクチン接種の補助金制度についての見解 ③ 細菌性髄膜炎・ヒブワクチン接種の啓蒙・啓発のための広報活動について 2. 事務事業評価と事業仕分けについて ① 事務事業評価の成果検証について ② 事業仕分けの認識とその取り組みについての見解 3. 全国学力・学習状況調査について ① 全国学力・学習状況調査の結果分析及び課題について ② 改善してきた事項及び改善すべき事項・改善のための対策について ③ 情報公開の在り方について ④ 抽出方式となった場合の対応について	①市民福祉部長 ②企画財務部長 ④学校教育部長 // ③教 育 長
3 番 茂木延夫議員	1. 市民の健康管理の取り組みについて 2. 新たな産業の振興について	①学校教育部長 ②市民福祉部長 ③経済環境部長 ④市民福祉部長
2 番 奥沢和明議員	1. キヤッセ羽生について ・ キヤッセ羽生(特にビール工房)の現状と今後の考え方は。 (りんごまるかじり条例制定の町、板柳町の実践例) 2. 市内商店街の活性化対策について ・ 歩行者天国を活用した日曜日を開催してはどうか。 過去に歩行者天国を活用した市はあったのか。 迂回路、駐車場を選定した中で、モデル事業が出来ないか。 (高知県帯屋町通り日曜日(約1.2km)の実践例+ひろめ市場 高知市内、通りが異なるが木曜日、金曜日等も実施している。)	①経済環境部長 ②経済環境部長

発言議員	議案件名・要旨	答弁者
	3. ゆるキャラサミットの開催について ・ゆるキャラを活用した市のPR事業を実施しては、県内レベルで、実施出来ないか。	③企画財務部長
6番 入江國夫議員	1. 図書館の運営について ① 図書館の使命はなにか。 ② 蔵書の拡充 ③ 司書の体制について ④ 不明の本の対策は。 ⑤ 図書館の指定管理者制度について  2. 岩瀬土地区画整理事業について ① 何でこんなことになったのか。 ② 説明会を4回開いたときいておりますが、地権者の方の意見・要望は何か。 ③ これから、どういう形で整備していくのか。今後、かかる予算はおよそいくらになるか。 ④ 現在までの市の補助金の総額は。今後、全議員に予算、決算書を配布してほしい。  3. 羽生総合病院との話し合いの到達は  4. 民主党を中心とした新しい政府が発足したが感想をお聞きしたい	①生涯学習部長  ②まちづくり部長  ③まちづくり部長  ④市長

【12月7日】

発言議員	議案件名・要旨	答弁者
15番 丑久保恒行議員	1. 122号バイパスの整備状況について ① 道路整備の進捗状況 ② 昭和橋の架け替え時期 ③ 群馬県側の4車線化の見通し ④ 道の駅とイオンモール羽生間の沿道開発の構想は。  2. 道の駅周辺整備について ① 道の駅の経営状況 ② 遊歩道の整備を。 ③ 道の駅周辺の整備構想は。  3. 教育環境の充実に向けて ① 市内小・中学校の現況(困難児童、軽度発達障害児童の推移) ② 教諭のストレスの実態は。 ③ 教諭への支援体制の現況と今後 ④ 保育所から短大までのネットワーク化 ⑤ 産学連携  4. 観光人口100万人実現に向けて ① 町の中に散策コースを設定してみてもは。 ② ボランティア案内人の設置 ③ 絵画、写真コンテスト ④ 藍の橋にイルミネーションを。 ⑤ 手づくりいがまんじゅう体験の場を。	①都市整備部長  ②経済環境部長  ④学校教育部長 // // // ③教 育 長 //  ⑤経済環境部長
7番 島村 勉議員	1. 汚泥再生処理センターの炭化肥料(たんぴくん)の活用について ・有料にしない理由 リサイクルと言うPRにしてみてもはいかがですか。  2. イオンモール羽生周辺の交通安全対策の進捗状況について	①経済環境部長  ②都市整備部長

発言議員	議案件名・要旨	答弁者
<p>11番 小野幸夫議員</p>	<p>1. 子宮頸がんの予防について</p> <p>① 羽生市の子宮頸がん検診の受診状況について:年齢別、検診間隔、陽性(擬陽性)などを詳細な分析が行われていたら、再度教えてほしい。陰性でも2~3年に1回は受診するのが良いと思うが、そうになっているのか。受診率向上のための施策はどうするのか。たとえば、出雲市の「がん撲滅条例」を参考にし、前向きな答弁を願います。埼玉県に指示や施策を待っていても進まないと思う。独自に条例を制定したり、本気になって政策立案をしていかないと難しいと思うが、その点の企画の立て方の思いを答えてほしい。</p> <p>② 子宮頸がんワクチンに対する考え:接種奨励のために羽生市が費用の助成をする考えはあるのか。</p> <p>③ ワクチン接種対象者の特殊性に対する羽生市の考えは:接種年齢が10歳以上の女性が対象者である。小児科では、すべての対象者をカバーできないし、産婦人科だけでもは、若年者には敷居が高い。内科だけでも、カバーしきれないと思うがどうであろうか。医療機関(医師会に丸投げ)任せにするのか。羽生市がイニシアチブをとって、接種者を広げてはどうか。</p> <p>④ 子宮頸がん検診の重要性と子宮頸がんワクチン接種の重要性をどの様に市民に啓発するのか。保護者にするのか。児童生徒に直接指導するのか。(性教育の特殊性やSTDとの違いなど、複雑であると思うが、いかがか。)</p> <p>2. 羽生総合病院の新築移転の支援について</p> <p>① 岩瀬土地区画整理組合事業(規模縮小)の進行状況について:進行状況が今後の土地利用計画に影響があるのか。新たな場所を開発することになれば、整備されていない市街地が広げることになり、農地が減ることになるとおもう。そのような状況で、市内の農地を市街地に変更できるのか。本当に新たな場所に病院の立替をする土地を確保する事ができるのか。岩瀬土地区画整理組合事業や周辺開発に今後どの程度、一般会計からの持ち出しがあると考えているのか。その為に、市の財政状況が硬直化したり、新たな起債が発生する危険性はないのか。</p> <p>② 羽生市の今後の医療・介護・疾病予防等、市民の健康福祉政策をどの様に考えていくのか。今までと同様に医師会中心で計画を立て、施策運営が行われるのか。救急や時間外を羽生総合病院に依存するのか。休日診療に関しては新都市の施策、予算のつけかた(一般会計からの持ち出し)を参考に答えてほしい。</p> <p>③ 羽生総合病院、新病院建設支援検討委員会の提言をどの様に受けとめているのか。一つ一つ、時期も含めて具体的に教えてほしい。</p> <p>④ 平成21年6月定例会にて、議会より提出された「羽生総合病院存続に向けての意見書」および市民から陳情「羽生総合病院存続に向けての陳情」をどの様に考えているのか。議会に提出された、陳情はさまざまな議論をへて、玉虫色の「一部採択」となった。議会では全員賛成の「意見書」では無くなっており、陳情を提出した市民に複雑な思いを持たせてしまっている。羽生市としては、市民の思いとの違いをどの様に解釈し、具体的にはどの様に今後の政策にいかしていくのか、教えてほしい。</p> <p>⑤ 今後の支援スケジュールを世間の救急医療崩壊、小児医療崩壊、産科医療崩壊と関連付けをして、どのタイミングで行っていくのが羽生市民にとって一番ベストな選択だと思うのか答えてほしい。</p>	<p>① 市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>② 学校教育部長</p> <p>③ まちづくり部長</p> <p>④ 市民福祉部長</p> <p>まちづくり部長</p> <p>まちづくり部長</p> <p>まちづくり部長</p>
<p>16番 蜂須直巳議員</p>	<p>1. 平成22年度予算編成について</p> <p>・ 河田市長一期目、最後の予算編成となる来年度予算について4年間を一区切りとした公約の実現に向け、予算編成上どの様に反映させて行く考えか。</p>	<p>① 市長</p>

発言議員	議案件名・要旨	答弁者
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先に実施された青年会議所との公約検証会で、その達成率は76～77%との事だが及第点と受けとめられる点数だが、残された課題に関し、22年度予算に何らかの取り組みを盛り込んでいくのか。</li> <li>・ 各地区で開催した市政懇談会で出された各種要望やご意見はどのようなものだったのか。当然予算措置をしなければならない課題、項目もあったと思うが、それらをどのような形で予算反映をして行くのか。</li> <li>・ 現状の中で課題となっている各種の事業や問題解決の為の取り組み（岩瀬土地区画整理事業、旧商工会館等、公有財産の処分・現金化、羽生インター前農地の有効活用対策、羽生駅東口再開発、羽生病院）等々に関して 以上、市長に伺いたい。</li> </ul> <p>2. 公契約条例の研究について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が発注した工事や業務委託を受注した業者に、「市が定める一定水準以上の賃金をその事業で働く人びとに保証しなくてはならない。」という全国初の「公契約条例」を千葉県野田市が本年9月議会で成立させました。国に先駆けての条例制定で、全国の地方自治体が注目との報道がありました。 厳しい受注競争のあおりを受け賃金切り下げが続く建設関係の労働者からの期待が高まっているとの報道も(背景には、ダンピング競争と下請け化、孫請け化と行政当局の安ければという今日的な考え)がありました。 ILOは1949年、国や自治体など公的機関が発注する事業に従事する労働者に適正水準の賃金・労働条件の確保を契約に明記することを義務付け、すでに先進国59ヶ国が批准しているが。 安ければ良いという考え方は、「公」の立場で絶対的基準かというとそうでないとの考え方も。公共性、公平正、有効性、効率性など総合的判断が必要と考えられるが、近年、財政状況の厳しさから効率性（低価格）のみが優先される傾向、風潮になっているのでは。工事を発注した公的機関が、その業務に携わる労働者の賃金に無関心である事は、社会の低賃金化（下請け、孫請けと）を招いて行く、行政の出来る範囲で社会的公正を実現して行く努力が求められると考えるが。</li> </ul>	<p>②企画財務部長</p>